

千葉市感染症発生動向調査情報

2021年 第6週 (2/8-2/14) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		6週	5週	4週	3週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの患者数	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定 点	感 染 症 名	千葉 市					千葉県
		注意報	2/8-2/14	2/1-2/7	1/25-1/31	1/18-1/24	2/1-2/7
			6週	5週	4週	3週	5週
小 児 科	RSウイルス感染症		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01
	咽頭結膜熱		0 0.00	1 0.06	1 0.06	0 0.00	23 0.17
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3 0.17	7 0.39	4 0.22	4 0.22	70 0.53
	感染性胃腸炎	○	37 2.06	26 1.44	29 1.61	26 1.44	239 1.80
	水痘		2 0.11	1 0.06	2 0.11	0 0.00	18 0.14
	手足口病		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.06	0 0.00
	伝染性紅斑		1 0.06	0 0.00	0 0.00	1 0.06	2 0.02
	突発性発しん	○	12 0.67	5 0.28	10 0.56	4 0.22	30 0.23
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性耳下腺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.04
インフル	インフルエンザ*（高病原性鳥インフルエンザを除く）		0 0.00	2 0.07	0 0.00	0 0.00	3 0.01
眼 科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		0 0.00	1 0.20	1 0.20	0 0.00	4 0.12
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎 （髄膜炎菌性髄膜炎を除く）		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 （オウム病を除く）		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスに限る）		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(191件)

※新型コロナウイルス感染症183件は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	0歳代	ツベルクリン反応	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	女性	70歳代	細菌の分離・同定、薬剤耐性の確認及び起因菌の判定
結核	男性	70歳代	IGRA検査	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	男性	60歳代	病原体の分離・同定
腸管出血性大腸菌感染症	女性	20歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認	梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	女性	20歳代	細菌の分離・同定及び薬剤耐性の確認	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代~100歳代	病原体遺伝子の検出等

・第6週は、結核2件(14)、腸管出血性大腸菌感染症2件(2)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(2)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(1)、梅毒1件(5)、新型コロナウイルス感染症183件(2458)の発生届があった。

※ ()内は2021年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第6週のコメント

<感染性胃腸炎> 前週より増加した。過去10年の同時期と比べると少ないが、第3週から増加傾向となっている。

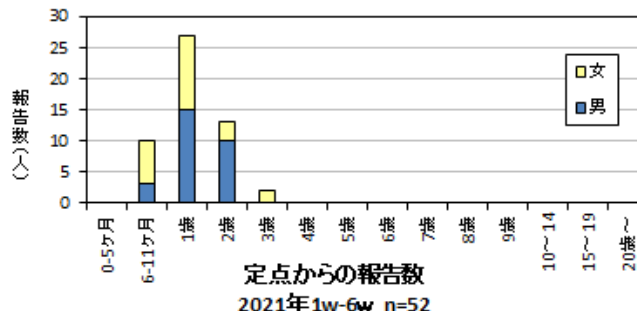
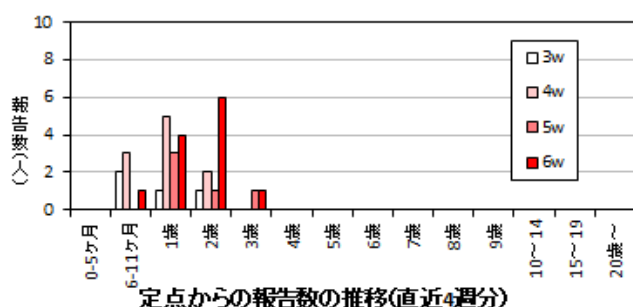
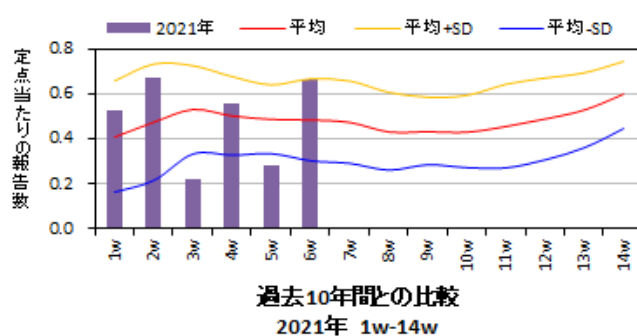
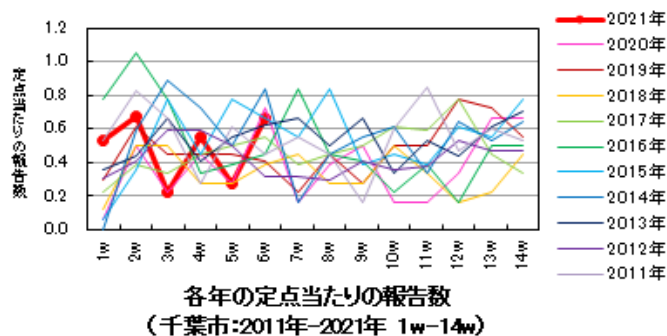
<突発性発しん> 前週より増加した。過去10年の同時期と比べると多い。

■ トピック ■

<突発性発しん>

全国レベルの第5週は0.37で、過去10年の同時期と比べるとやや少なめとなっています。都道府県別では、福島県で最も多く報告されています。千葉県は0.23で全国レベルと比べるとやや少なくなっています。

千葉市の第6週は、前週より増加し0.67となりました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、緑区(1.50/定点)で最多で、同区の1歳及び2歳で多く発生報告がありました。2021年第1週から第6週までの累積報告数は52件で、男性が53.8%(28件)、女性が46.2%(24件)で、年齢階級別では1歳(51.9%:27件)、2歳(25.0%:13件)、6-11か月(19.2%:10件)の順で多くなっています。



<感染性胃腸炎>

全国レベルの第5週は2.83で、過去10年の同時期と比べるととても少なくなっています。都道府県別では、宮崎県、鹿児島県、福井県の順に多く報告されています。千葉県は1.80で全国レベルと比べると少なめとなっています。千葉市の第6週は2.06となり過去10年の同時期と比べると少なくなっていますが、第3週から増加傾向にあり、年齢階級別で見ると1歳から4歳及び10歳代前半で増加が目立っています。区別の発生状況は、若葉区及び緑区(共に3.5/定点)で最多で、若葉区では1歳及び10歳代前半、緑区では1歳及び4歳で多く報告されました。

感染性胃腸炎は、細菌又はウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。ウイルス感染(ロタウイルス、ノロウイルスなど)が多く、毎年秋から冬にかけて流行します。病原体が付着した手で口に触れたり(接触感染)、汚染された食品を食べる(経口感染)ことによって感染します。

予防方法として、ロタウイルスによる感染症については、令和2年10月1日から市内に住民登録がある令和2年8月1日以降に生まれた乳幼児を対象に予防接種が定期接種となっています。ノロウイルスについては、予防接種はありません。その他、トイレの使用後や調理・食事の直前に、石けんと流水で十分に手を洗う、加熱が必要な食品を調理するときは、中心部まで十分に加熱することが重要です。また、便やおう吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。消毒は次亜塩素酸ナトリウムを使用します。詳細は千葉市のWebSiteを参照してください。

<ロタウイルスワクチン予防接種のご案内>

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/hokenjo/kansensho/rotavirus.html>

⇒「ロタワクチン ご案内」で検索可能

<感染性胃腸炎に注意しましょう！(消毒方法を含む)>

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seisaku/kannsennseityouen.html>

⇒「感染性胃腸炎に注意 千葉市」で検索可能

